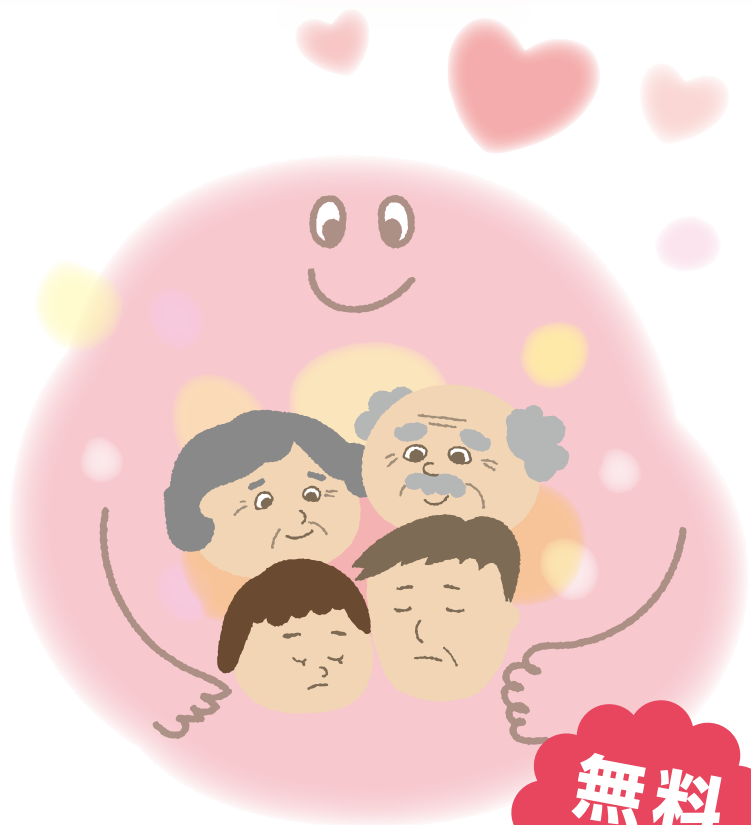


だれもが孤立しないひきこもり支援

生きづらさを抱えた人や その家族と 共に考え共に歩く支援

生きづらさを感じ、社会の中で、
人とうまく関われなくて苦しい…
と感じていませんか。

誰に相談しても、分かってもらえないのなら、
心を閉ざすしかない…と諦めていませんか。
私たちは、そんな方たちの苦悩を理解し、
つながりたいと思っています。
あなたの勇気ある一歩を応援し続けます。



無料

定員 200名

※事前申込制
申込締切11/5(火)

令和6年 **11月23日** 祝土

9:30~15:45(開場9時00分)

参加申込はこちらから

<https://ds23e.cc.yamaguchi-u.ac.jp/jimu/form/?en=240730133535>



※SDS(Social Distancing Syndrome)
社会的距離症候群のことです

主催 / 山口大学医学部・宇部市

後援 / 山口県 / 山口県警察本部 / 宇部市教育委員会 / (公社)山口県看護協会 / (福)宇部市社会福祉協議会 / (一社)日本精神科看護協会 / (一社)宇部市医師会 / (一社)宇部歯科医師会 / (一社)宇部薬剤師会 / 山口県精神保健福祉士協会 / 宇部市障害者ケア協議会 / (特非)KHJ全国ひきこもり家族会連合会 / 山口新聞社 / (株)宇部日報社 / yab山口朝日放送 / (株)FMきらら / 山口ケーブルビジョン

だれもが孤立しないひきこもり支援

生きづらさを抱えた人や その家族と 共に考え共に 歩く支援



宇部市と山口大学は、誰一人として孤立することのない地域づくりに取り組んでいます。

誰もがなりうる“ひきこもり”の正しい知識を得ることで、さまざまな生きづらさを抱えている人が、その人らしく生きていける地域共生社会を目指します。

…ひきこもりに代わる用語です…

SDS (Social Distancing Syndrome) : 社会的距離症候群

(定義) SDSとは、さまざまな要因によって、社会や人と一時的に距離を取った結果、徐々に社会とのつながりがなくなり、家族以外の人、または家族とのコミュニケーションの機会が減ってしまった現象概念である。さらに、この状態が長期化することによって自尊心が低下し、社会参加が難しくなる。

プログラム ※興味のあるプログラムのみ参加も歓迎します

9:00 受付・開場

9:30 開会行事

9:45 **講演 1**

「信頼できる人に繋がるために」

山根 俊恵 (山口大学医学部 SDS 支援システム開発講座 教授)



11:00 **基調講演**

「ひきこもりをトラウマの視点から理解する」

田邊 友也 (訪問看護ステーションいしずえ 代表)



12:00
~12:45

昼 食

昼食はあらかじめ各自ご準備ください。

13:00 **講演 2**

「医療機関がひきこもり支援でできること」

小早川 節 (波乗りクリニック 院長)



14:15 **パネルディスカッション**

ひきこもり経験者・家族・ひきこもり支援者

15:45 閉会行事

日付 **令和6年 11月23日(土)**

時間 **9:30~15:45 (開場9:00)**

会場 **山口大学医学部 講義棟C 第3講義室**
〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1

定員 **200名(申込先着順)**

参加対象 **宇部市に住所を有する人、または
通勤・通学する人**

申込方法 **この講座は事前申込制です。**

参加申込はこちらから



**申込締切
11月5日(火)まで**

駐車場のご案内

お車でのご越しの方は、①からご入場ください。
誘導員が構内駐車場へご案内いたします。満車になる場合は外来立体駐車場(②、当日無料)をご案内いたします。大学周辺の店舗、路上への駐車はお控えくださいますようお願い申し上げます。

会場のご案内



お問合せ

**山口大学医学部
SDS支援システム開発講座**
E-mail:sdsshakai@yamaguchi-u.ac.jp



事前に中止になる場合はホームページでお知らせします
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/med/chair/sds/>

宇部市障害福祉課
電話:34-8522 FAX:22-6052